

決算概要

一般会計の歳入額は286億4,000万円、歳出額は274億2,000万円で、翌年度に繰り越すべき財源1億6,000万円を除き、実質収支は10億6,000万円の黒字となりました。

■主な事業

小学校建設事業 21億9,000万円

小川北義務教育学校の校舎建築、玉里小学校、玉里中学校の校舎解体など

子育て世帯臨時特別給付金事業 7億4,000万円

子育て世帯に子ども1人当たり10万円を給付

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 4億円

住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円を給付

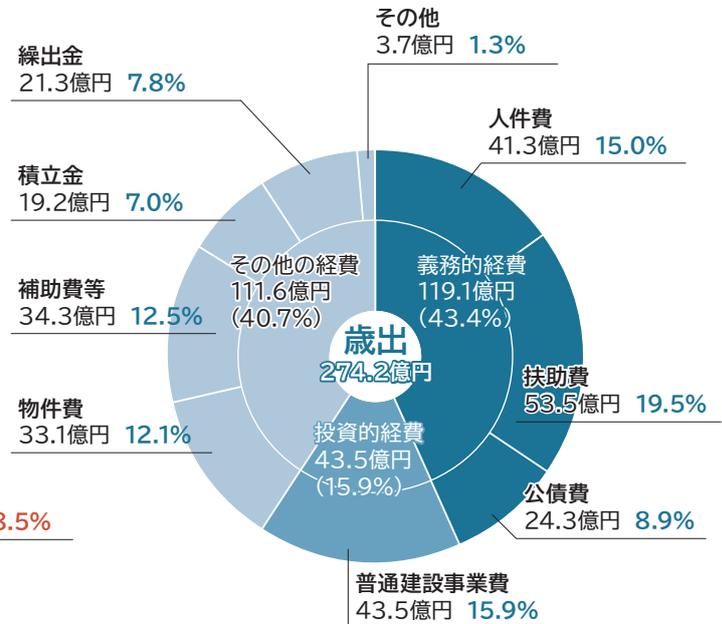
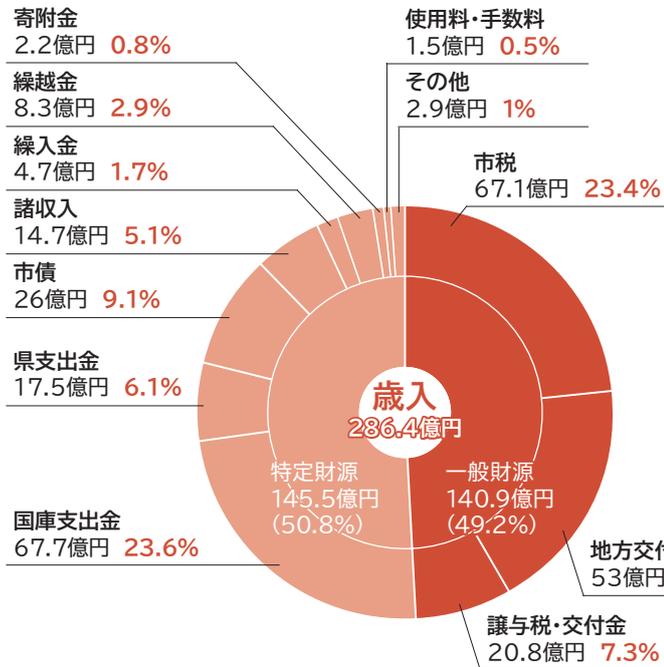
新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億9,000万円

新型コロナウイルスワクチンの接種を実施

令和3年度の決算が認定されました。小美玉市のお金と財産の現状、今後の課題を確認します。

令和3年度

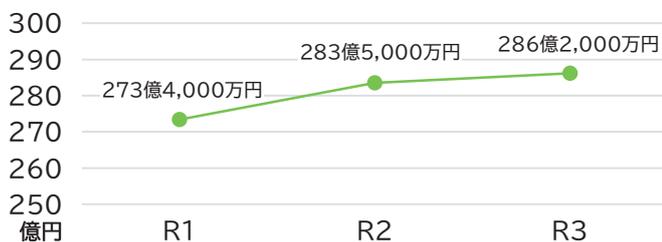
決算



市債と基金の現状

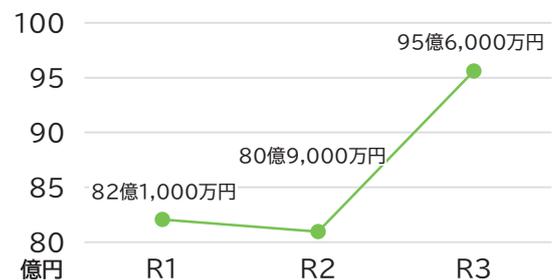
市債(普通会計)とは

学校建設や道路整備など、大規模な建設事業には多額の費用がかかります。これを全てその年の税金でまかなおうとすると他の事業ができなくなってしまうので、銀行などからお金を借ります。これを「市債」といいます。令和3年度末の市債残高は286億2,000万円です。小川北・玉里学園義務教育学校建築の借入などにより、前年度末から2億7,000万円増加しています。



基金(普通会計)とは

法律や条例に基づき設置される「基金」は、さまざまな目的のために積み立てた市の貯金です。令和3年度末の残高は95億6,000万円です。廃止された公共施設の解体や再整備に備えるため積立を行い、前年度末から14億7,000万円増加しています。



おみたま家の家計簿

決算額を5,000分の1に縮小し、1か月分を算出して、市の財政状況を家計簿に見立てました。

収入

- 給与(基本給) 市税(市民税、固定資産税など)
- 給与(諸手当) 地方交付税、地方譲与税、各種交付金
- パート収入 諸収入、使用料・手数料、財産収入など
- 親からの援助 国・県支出金
- ローン(借入金) 市債
- 貯金引き出し 基金繰入金など
- 前年度に残ったお金 繰越金

(1月あたり)	▼前年比
11万1,700円	△2,500円
12万3,300円	△6,700円
3万5,000円	+2万円
14万1,700円	△7万2,500円
4万3,300円	△1万2,500円
8,300円	△5,800円
1万4,200円	△1,700円
収入合計	△8万1,700円

令和2年度のコロナ対策が大きかった分、今年度は親からの援助、医療・介護・教育費がともに大きく減った。



収入合計

47万7,500円

△8万1,700円

貯金残高

194万円

+30万円

支出

- 食費 人件費
- 光熱水費など雑費 物件費(光熱水費、消耗品費、委託料など)
- 医療・介護・教育費 扶助費、補助費など
- 家の改築・修繕、防災対策 投資的経費、維持補修費
- 子どもへの仕送り 貸付金、繰出金
- ローンの返済 公債費(市債の返済)
- 貯金 積立金

(1月あたり)	▼前年比
6万8,300円	±0円
5万5,000円	±0円
14万6,700円	△8万9,200円
7万8,300円	△1万9,200円
3万5,800円	±0円
4万800円	±0円
3万1,700円	+1万9,200円
支出合計	△8万9,200円

ローンの返済額より借入額が多い。借金を減らすためにも、借入額を減らしたい。



そろそろ家の改築や修繕をしなきゃいけないから、計画的に貯金したい。



支出合計

45万6,600円

△8万9,200円

ローン残高

571万円

+5万円

財政健全化の判断比率

…小美玉市の財政状況の位置

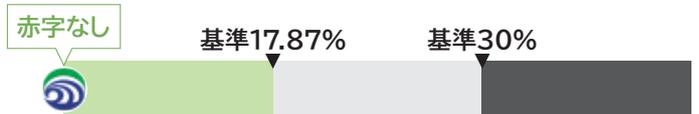
実質赤字比率

一般会計などの実質的な赤字額が、基準の収入に対してどれくらいの割合になるか示すもの



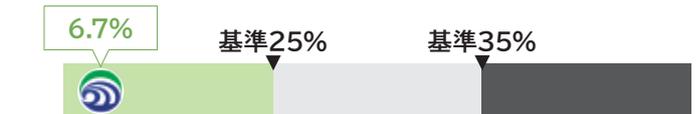
連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、基準の収入に対してどれくらいの割合になるか示すもの



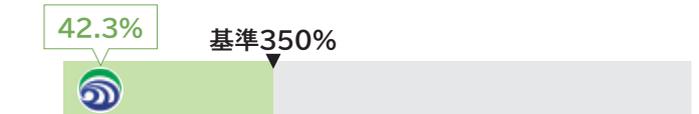
実質公債費比率

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、基準の収入に対してどれくらいの割合になるか示すもの



将来負担比率

一般会計などの将来負担すべき実質的な負債が、基準の収入に対してどれくらいの割合になるかを示すもの



資金不足比率

各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すもの



今後の財政運営

課題

少子高齢・人口減少社会の進展やコロナ禍の長期化などに伴い、市の財政は厳しい状況にあります。歳入は増加を見込みづらく、歳出は扶助費・公債費の義務的経費のほか、不透明な国際情勢による燃油高騰などにより維持管理費も増加傾向です。また、老朽化した施設の維持補修、廃止した公共施設の解体や再整備などに多額の費用が見込まれます。

運営方針

厳しい財政状況の中、多様化する行政需要や新しい生活様式へ対応するため、小美玉市DX推進計画によるスマート自治体を推進します。限られた経営資源を最大限活用し、財政の健全化を図るとともに持続可能な財政運営に努めていきます。